



我孫子市
Abiko city

令和7年11月25日
報道提供資料



市内大学生が制作した映画 第2弾「ただいまと言える場所」完成 イベント「手賀沼ランタン～Xmas フェスティバル～」で放映

市内2大学（川村学園女子大学・中央学院大学）の学生、高校生、社会人が、地元の活性化につなげるため市内を舞台に制作した映画の第2弾が完成しました。

市制施行55周年フィナーレイベント「手賀沼ランタン～Xmas フェスティバル～」での作品放映に伴い、映画制作プロジェクトの代表者2名が星野市長を訪問します。

※この事業は、市制施行55周年協賛事業です。

表敬訪問

日 時：令和7年11月26日（水）午前10時30分からの
定例記者会見内

場 所：市役所議会棟1階 第一委員会室

出席者：木暮 ^{こぐれ} 亮生さん（中央学院大学4年）

本田 ^{ほんだ} 琉一郎さん（中央学院大学2年）

橋本 ^{はしもと} 匠さん（Unitry 代表、社会人）



本プロジェクトは、市内の2つの大学の学生と市に縁のある学生、社会人が共同して映像制作を実施することを通し、市への愛着や誇りをより高めることを目的としています。

この映像作品では、「居場所や帰れる場所」を表現しています。我孫子市に元々住んでいる方も、移住してきた方も、このまちを「居場所や帰れる場所」と感じるができるのは、人との交流があるからこそだというメッセージを伝えています。作品を鑑賞した皆さんに、地域の中で多世代が交流することが、豊かな人生、豊かなまちへつながるということを感じていただき、交流が増えていくことを目的としています。

また、「ロケのまち」としての我孫子市をアピールできるように工夫し、我孫子により多くの人に訪れていただくきっかけとなるとともに、交流人口の創出にも貢献したいと考えています。

【問い合わせ】

◎表敬訪問について

我孫子市 企画総務部 秘書広報課
あびこの魅力発信室
担当：深田、奈良
電話：04-7185-2493

◎映画について

我孫子映画制作プロジェクト
担当：木暮、菅井、重野
電話：080-9555-9764

市内大学生制作映画 第2弾「ただいまと言える場所」(約42分)

手賀沼ランタン〜Xmas フェスティバル〜 上映会

日 時: 令和7年12月20日(土) ①正午〜 ②午後2時〜 ③午後3時30分〜 (計3回)

場 所: 手賀沼親水広場水の館1階 手賀沼ステーション

定 員: 各回先着25名

入場料: 無料

●制作費の寄付の実施

本映画の制作には、レンタル機材などの経費で総額約40万円計上いたしました。学生主体で制作することから、入場は無料ですが、経費を捻出するために上映会場で皆様に寄付を通じて、幅広く資金面の協力をお願いします。

【映画概要】

町を出て行くことばかり考えていた新木羽来は、友人の下沼大地と、いつものようにカフェで時間を過ごしていた。しかし、ひょんなことから、この町へ引っ越してきたばかりの大学生・高野優花梨と出会い、下沼の思い付きで「町案内」をすることになってしまう。

町に未練の無い新木は気乗りしないまま同行するが、高野との交流や、先輩・久我たちの導きによって町の魅力に心を動かされて……。

【この作品で伝えたいこと】

「居場所」や「帰る場所」の大切さを表現しています。

○人が自立しようとするとき、心のよりどころとなる居場所の存在は、とても重要なものだと思います。

居場所が無ければ、前に進むことも、後ろに退くこともできません。

○地元(自分の生まれた、もしくは育った「まち」)を一つの居場所の形としています。地元を知ること、地元の方と交流することが、自分の居場所を作る方法であると思います。

○この作品を通して、地元を離れた人や、離れるかどうか悩んでいる人たちが、今一度自分の居場所に想いを馳せ、そして一歩を踏み出すきっかけになればと考えています。

【主催団体】

任意団体「Unitry」

(団体メンバー: 中央学院大学6名、川村学園女子大学3名、
中央学院高校1名、その他高校生1名・大学生2名・社会人4名)

Instagram (二次元コードからアクセス可):

https://www.instagram.com/ab_unitry?igsh=bjBwdHlwbXhsdWRt



@AB_UNITRY

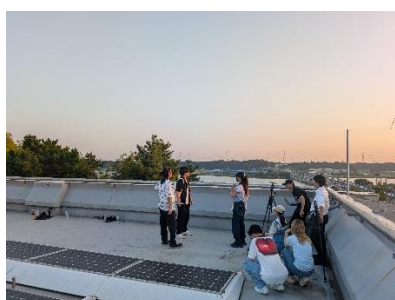


▲メンバーの大学生がデザインした、
市の鳥オオバンを使った団体ロゴマーク

【市内各所のロケ地】

撮影期間: 令和7年8月1日~9月30日 (約20日間)

- ・我孫子市鳥の博物館 ・我孫子二階堂高等学校 ・手賀沼遊歩道
- ・和 cafe TUMUGI ・旧井上家住宅 ・水の館プラネタリウム
- ・ファミリーレストラン「旧ステラ」跡地 ・我孫子市役所屋上 ・中央学院大学
- ・オルタナティブスクール「ラ・ルース」



【撮影スタッフ】

監督: 木暮 亮生

脚本: 本田 琉一郎

プロデューサー: 菅井 一誠

【演者】

新木羽来役:荒木 陸^{あら き りく}(中央学院大学4年)
高野優花梨役:叶 田 麻奈^{かのう だ ま な}(中央学院大学3年)
下沼大地役:本田 琉一郎^{ほん だ りゅういちろう}(中央学院大学2年)
久我直哉役:増山 達也^{ますやま たつ や}(中央学院大学4年)
カフェ店員役:佐藤 智紀^{さ とう ともり}(中央学院大学1年)
ファミレス店員役:木暮 亮生^{こ ぐれ りょうせい}(中央学院大学4年)
乗馬係役:平井 ひなの^{ひら い}(日本大学1年)
高野友人役:菅 薫^{すが かおる}(中央学院大学1年)

【制作協力】

我孫子市教育委員会様
川村学園女子大学かわむらボ様
中央学院大学地域連携カイギ部様
手賀沼フィルムコミッション様

【映画完成後の予定】

- ・市内の高校生・大学生の、市内での活動の活性化につなげる
- ・制作した映画を市内外で撮影することを通じて、我孫子の魅力や我孫子への想いを伝え、関係人口を創出する。

●市内大学生制作映画 第1弾「それでも、夢を。」(約 25 分)

Unitry 代表:橋本 匠^{はしもと たくみ}(東京大学4年)※学年は令和6年度時点
脚 本:小 侍 万桜^{こ ざむらい ま お}(川村学園女子大学4年)※学年は令和6年度時点
出 演 者:中央学院大学生、川村学園女子大学生、中央学院高校生ら
公 開 日:令和7年10月5日
撮影期間:令和6年8月15日～9月15日(10日間)

【あらすじ】

脚本家になる夢を見る望夢^{のぞ む}(高校2年生)と、将来の不安に押し潰されそうな志信^{しのぶ}(大学3年生)。
先輩の天音^{あまね}(大学4年生)をきっかけに出会った2人。
お互いに悩み合うことで、見えてくるものとは……。